

2年連続、全道大会へ



行くぞ！

青苗中学校野球部（監督・金子公也他、部員17名）は、檜山大会連覇を成し遂げ、後志管内、岩内町と共和町で8月1日から行われた「平成20年度北海道中学校体育大会・第59回北海道中学校軟式野球大会」に2年連続出場し、昨年の雪辱を晴らすべく、大会に挑みました。

昨年の雪辱を！

今大会の初戦、地元後志代表、岩内第一中学校と対戦。雨中の試合、五回表に先制点をあげると、六回七回にも追加点をあげ、7対1と快勝。念願の全道大会で初勝利をあげました。



ベスト4へ！

その勢いそのまま、準々決勝の相手、上川代表、旭川東陽中学校、四回に先制されるも六回に追いつき、2対2のまま延長九回でも決着がつかず、十回からは、特別延長戦の促進ルール（ノーアウト満塁から、始める）で、十回、3点を奪われ、その裏、1点を返すが惜しくも敗れ、ベスト4

入りを逃しました。

今大会の優勝校は、青苗中学校が惜敗した、旭川東陽中学校でした。

試合後：

選手たちの目から流れる悔し涙は止まりませんでした。島から応援に駆けつけた保護者や会場の観客から「頑張ったよ」、「立派だったよ」の歓声と拍手が止むことなく、監督や保護者たちの目にも涙が見られました。

これまで、苦しい練習にも耐え、頑張ってきた選手たちの熱い夏は終わりました。



ありがとう 「ごさいます」

「ここまで頑張った生徒と部活動へ対する保護者の方々、地域の皆さまのご理解とご協力、力強い応援や声援に深く感謝します。そして、今後、励ましの言葉や激励などよろしく願います。」

青苗中学校野球部

監督・金子公也



全国離島交流中学生 野球大会

未来を担って

奥尻中学校野球部「奥尻うにまるず」(監督・木村吾勝他、部員11名)が、東京都大島町(伊豆大島)で7月25日

〜28日に開催された「国土交通大臣杯第1回全国離島交流中学生野球大会」(離島甲子園)に参加しました。

この大会は、『全国の島の少年少女が一堂に会し、野球を通して『島』と『島』の交流を図り、夢づくり、人づくりを行い、島の活性化をはかること』を目的に今年度から開催されました。

大会には、奥尻町を含む、全10チームが集まりました。

緊張

25日の夜には村田兆治さん(元プロ野球選手)の講演、組み合わせ抽選会で奥尻うに

野球大会

まるずの1回戦の相手は、地元伊豆大島選抜に決まり生徒たちは、「よし、頑張ろう」などと気合いを入れていました。

その後、村田兆治さんと各チームの記念撮影などで、1日目が終わりました。



憧れの

2日目(26日)は、開会式が行われたあと、まさかりドリームス(村田兆治さんをは

じめとするプロ野球OB、12名で構成されたチーム)による野球教室が開かれ、選手たちは熱心に聞き入っていました。

その後、「まさかりドリームス対全国離島中学生選抜」の親善試合で、奥尻からは、中野幹也さんと永洞史耶くん(共に3年生)が出場しました。

試合後は、島内見学が行われ、奥尻とは違った風景など貴重な体験もしました。

初戦

3日目(27日)は、大島町野球場とマイアミ球場の2会場で行われ、1回戦と準々決勝が行われ、奥尻うにまるずは、残念ながら、7対0で負けてしまいました。選手たちの頑張りは、真っ黒になったユニフォームが何よりの証でした。

交流戦

4日目(28日)は、初戦敗退チームで、交流試合を行い奥尻うにまるずは、三宅中学



校野球部(東京都三宅村)に10対0で勝利し、互いの健闘を称え合いました。



交流戦後には大会の決勝戦が行われ、西郷ジュニアベースポールクラブ(島根県隠岐の島)が地元伊豆大島選抜を下し、初大会の栄冠を手に入れました。

大会を終えて

野球の試合などを通しての各島の選手たちとの出会い、村田兆治さんと関係者の人たちと、野球以外での交流も深め、選手たちにとっては、貴重な体験と経験を得た大会になったと思います。

奥尻中学校野球部

監督・木村吾勝

故郷で成人式



藤谷 和馬さんと
築田志緒理さんの
「成人者誓いの言葉」

真夏の奥尻町成人式が、8月12日に海洋研修センターで行われました。

成人を迎えたのは、昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた方で、町内在住の28名と町外からの出席者10名、あわせて38名の新成人が出席し、20歳の門出を祝いました。

式典では、和町長の式辞をはじめ、来賓の方々からの祝辞に続いて、新成人を代表して、藤谷和馬さんと築田志緒理さん



櫻花 力くんの
「交通安全宣言」

の2人が「成人者誓いの言葉」を櫻花力くんが「交通安全決意宣言」をしました。式典の後の祝賀会では、久しぶりに再会する友人たちと語り合うなど、故郷で大人の仲間入りを果たしました。

わが家の ★アイドル★



千田 剛さん(字青苗)の
あさ ひ
長男 **朝 陽**くん(1歳11ヶ月)

～両親からのメッセージ～

たくましく元気な子になってね♡
パパ・ママより

クワイバー ハイパー コンサート

「クワイバーハイパーモニターコンサートinおくしり」が、7月30日に海洋研修センターで行われました。

クワイバーハイパーモニターは、神戸を中心に全国各地で公演を行っており、2年前にも奥尻町でコンサートを行っています。今年4月にメジャーデビューを果たし、5月からコンサートツアーを行っており、奥尻町で再びその歌声を披露することとなりました。



コンサート後の
握手会とサイン会



▲来場者へ「ハッピー
バースデー」の
プレゼント

会場には約300人が来場し、オリジナルの曲を中心に十数曲を披露し、最後は震災から15周年を迎えたというところで、神戸の小学校の先生が阪神大震災からの復興を祈り作られた曲「しあわせ運べるように」を奥尻町の皆さんにもおぼえてほしいと、心を込めて歌っていました。コンサート後はサイン会も行われ、一人ひとりと握手を交わし、また奥尻町でコンサートを開くことを約束していました。

よろこび
かなしみ



お誕生

おなまえ 保護者 住所
宮崎 遙人(はると) 修一郎 字奥尻



「冥福を
お祈りします」

おなまえ 年齢 住所
櫻花ヨシノ 満83歳 字奥尻
高津 哲隆 満70歳 字米岡
坪谷志津子 満61歳 字青苗

(平成20年7月11日から8月10日まで・敬称略)

町の人口・世帯	
住民基本台帳7月末現在	
男	1,746人 (±0)
女	1,698人 (-1)
計	3,444人 (-1)
	1,675世帯 (+7)
()は、前月末比較増減	

おわび
広報「おくしり」8月(No.485)の中で、次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。
◎13ページ「わが家の☆アイドル☆」の文中
◎井田 円さん(字米岡)
◎井田 円さん(字宮津)